

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAce学園		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8人	(回答者数)	8人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達状態に応じた個別活動と集団活動ができる。	・個々のニーズに合わせた個別療育の実施をし、日常動作訓練、創作的活動、機能訓練、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れている。 ・絵カードや動画を通して言葉に親しみを持ったり明瞭な発語を促したりしている。	・定期的に職員間で子どもの発達状況の共有を行い、適切な活動を取り入れていく。 ・個別活動の様子を動画に残し、保護者様に情報を提供する機会を検討する。
2	・手厚い支援体制で療育を行っている。	・各職員が個々に関わりを持ち、療育に携わっている。個々の療育内容を職員間で共有し、スモールステップを全員で分かち合うようにしている。 ・日々の活動の様子を書面や口頭で伝えるだけでなく、画像や動画にて分かりやすく子どもの様子を見ていただけるよう意識している。	・面談を定期的に実施し、保護者様への相談援助やフィードバックを大切にしている。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)に対する周知・発信不足。 訓練等実施していることでの発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足。 ・SNSの活用不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認のもと、年度初めに保護者へおたよりにて周知していく。 ・SNS等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。
2	・利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供不足。	・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・取り組み不足が大きな要因。	・保護者のニーズ・意見を聴取し、安全性を考慮しながら、少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情報収集を行う。
3			